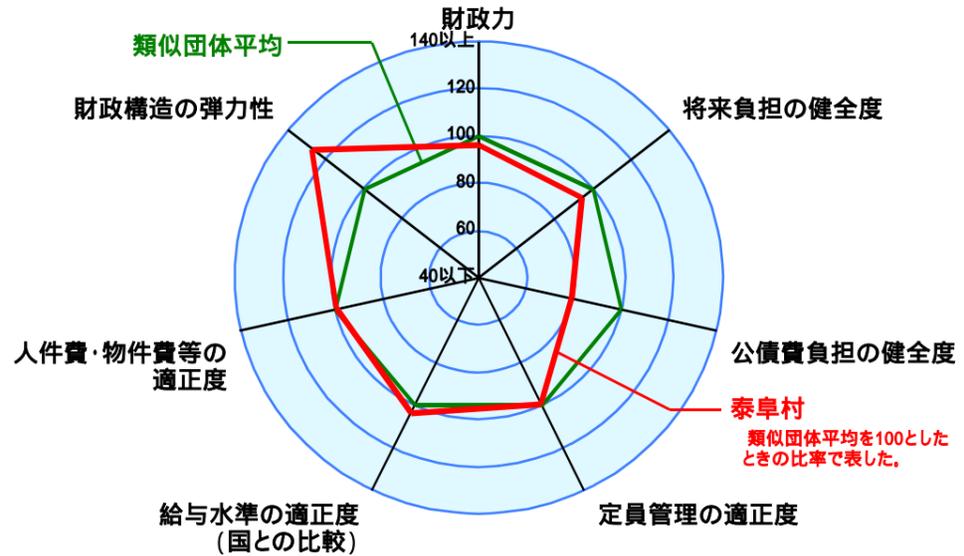
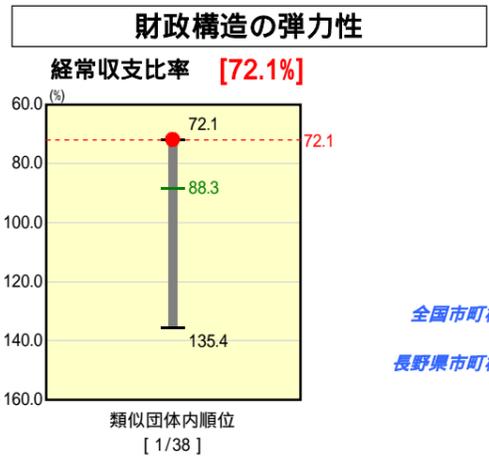
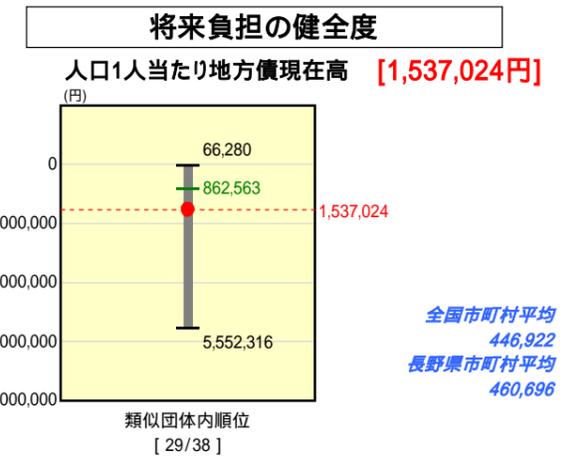
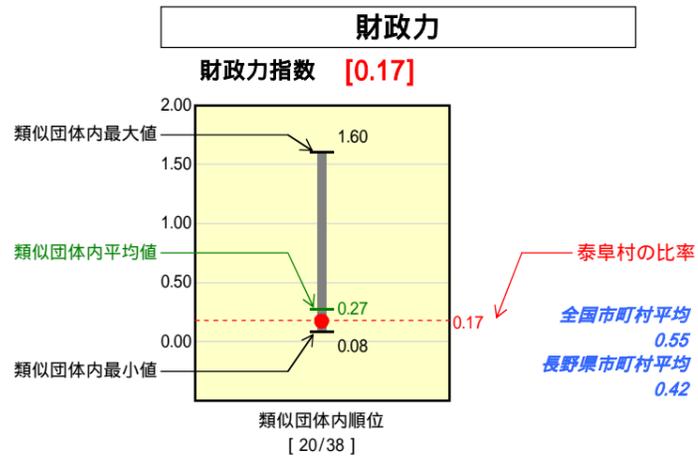


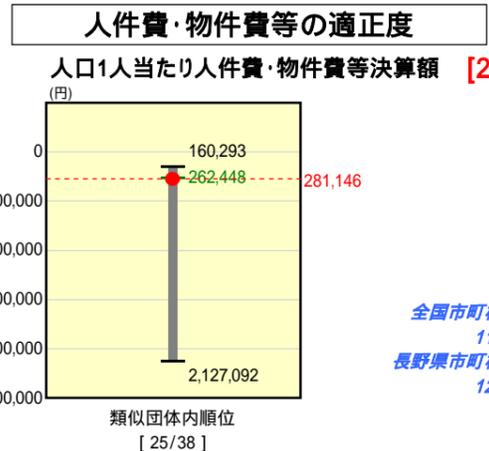
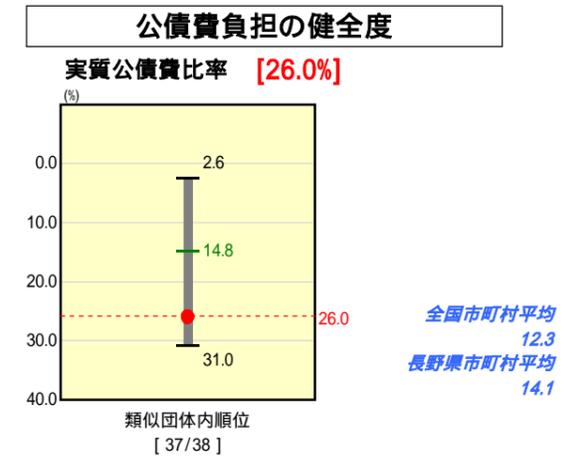
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 泰阜村

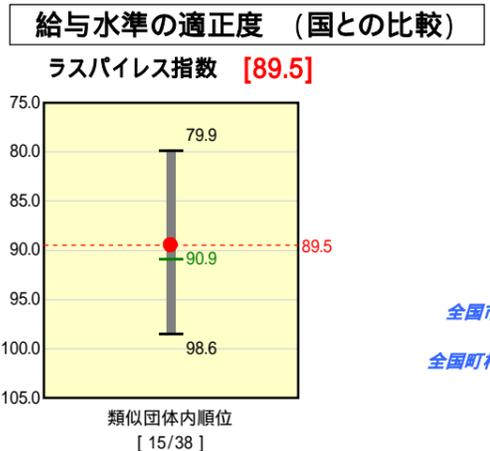
人口	1,930人	(H20.3.31現在)
面積	64.54	km ²
歳入総額	2,387,904	千円
歳出総額	2,276,564	千円
実質収支	106,162	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



分析欄

財政力指数: 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成19年度末37.5%)に加え中心となる産業が少ないため税収が少ない。このため財政基盤が弱く類似団体平均を下回っている。事務事業の見直しによる歳出削減と集中改革プランに沿った施策の重点化・効率化に努め財政の健全化を図る。

経常収支比率: 類似団体を大きく下回っているのは人件費の特別会計への異動があったための一時的なものである。義務的経費は増加傾向にあるものの、高利率地方債や繰上償還により改善が見込まれ、今後も任意の繰上償還、低金利の借換債の活用により経常経費の削減を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体と比較して若干上回っている。昨年より改善されているが、人件費の特別会計への異動による一時的なものである。類似団体を上回っているのは物件費が要因であり、施設の維持管理業務等指定管理者制度の導入により民間への委託を進め、コストの低減を図る。

ラスパイルズ指数: 職員の削減、議員、特別職、一般職の給与削減により類似団体平均を下回っている。今後も類似団体平均を下回ると見込まれる。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体平均を大きく上回っている。簡易水道事業と過疎対策事業によるものが主な要因であるが、21年度の統合小学校建設で大型投資事業はほぼ完了するため、今後は新規地方債の発行を抑制し、任意等繰上償還の活用により類似団体平均の水準となるよう努める。

実質公債費比率: 簡易水道事業等大型投資事業により全国平均を大幅に上回っている。しかし比率上昇の原因となったこれらの地方債の償還ピークは過ぎており、補償金免除繰上償還の実施で大きく改善が見込まれる。任意の繰上償還の実施、新規発行地方債の抑制により実質公債費比率の低下に努める。

人口1,000人当たり職員数: 過去から新規採用抑制を行っており、ほぼ類似団体平均水準となっている。平成17年度からの集中改革プランにおける目標は既に達成しており、今後も適正な定員管理に努める。